

JAGUAR

tcs

RACING

2024年3月18日

ジャガーTCSレーシング、フォーミュラE世界選手権シーズン10 第4戦、サンパウロ E-Prix で ミッチ・エバンスが今シーズン初の2位表彰台を獲得



- 2024年ABB FIAフォーミュラE世界選手権の第4戦でミッチ・エバンスが2位フィニッシュ
- ニック・キャッシュも上位入賞を狙っていたが、フロントウイングの損傷によりアクシデントに見舞われリタイア
- チームは開幕から4戦連続で表彰台を獲得し、2024年シーズン序盤の好調さを維持
- ジャガーTCSレーシングは、第4戦を終え96ポイントでチーム・ランキング首位をキープ
- ドライバーズ・ランキングはニック・キャッシュがトップ、ミッチ・エバンスが3位に
- 第5戦は、2024年3月30日に初開催となる東京・有明

2024年3月16日ブラジル・サンパウロ発: ABB FIAフォーミュラE世界選手権シーズン10の第4戦サンパウロ E-Prixにおいて、ミッチ・エバンスは、サンパウロ E-Prix で2位となり、今シーズン初の表彰台を獲得しました。ジャガーTCSレーシングは開幕戦以来、4戦連続で表彰台を獲得しています。

ミッチ・エバンスは、クオリファイセッションでデュエルに進出するなど好調な走りを見せ、4番グリッドを獲得、サンパウロの太陽の下、「I-TYPE 6」で印象的なレースを展開しました。34週のレースを通してディフェンスとアタックの両方をこなしたミッチは、NEOM マクラーレンのサム・バードに続く2位のポジションをキープし、残り6周でオーバーテイクしました。トップに立ったミッチはチームとともに戦略的にレースを進めましたが、チェッカーまで2つのコーナーを残すのみとなったところで

JAGUAR



RACING

バッテリーの温度が上昇し、マシンがパワーダウンしてしまい、最終的にサム・バードに抜かされ優勝を逃しました。

9番グリッドからスタートしたニック・キャンディはポジションをアップするため全長 2.93km、11のコーナーで構成されたコースを果敢に攻めました。レース序盤、ニックはエネルギー・マネージメントに集中し、適切なタイミングでアタックできるポジションを見計らっていましたが、不運にも数台のマシンが固子状態になったなかでフロントウイングにダメージを負い、最終的にリタイアとなりました。

ジャガーTCSレーシングは、2024年世界選手権シーズンの4分の1を終え、チーム・ランキングでポルシェに35ポイント差をつけ96ポイントで首位をキープしています。

ニック・キャンディは、今週末はポイントを獲得できませんでしたが、ドライバーズ・ランキングのトップの座を維持し、ミッチ・エバンスは3位に浮上しました。

ジャガーTCSレーシングのチーム・プリンシパル、ジェームズ・パークレーのコメント:

「ここサンパウロでも素晴らしい週末となり、チームの皆を誇りに思います。ミッチはFP2では1周しか走れませんでした。デュエルに進出し今日のような素晴らしいレースをすることができました。このレースは気温の影響を受けやすいことはわかっていました。チームが素晴らしい戦略を立ててくれましたが、レースの最後2つのコーナーでバッテリーの温度とエネルギーのバランスがうまくいきませんでした。ニックは本当に不運でした。彼はすべてのセッションでペースがあり、ポイントフィニッシュも期待できましたが、これがモータースポーツです。重要なのは、ドライバーズ・ランキングでニックが首位を維持し、ミッチが3位、そして、チーム・ランキングでリードを広げたことです。東京に向かうことを本当に楽しみにしています。」

ジャガーTCSレーシングドライバー、ミッチ・エバンス(#9)のコメント:

「今日はほろ苦い気分です。表彰台にのぼり、チームのためにポイントを獲得できたのは嬉しいのですが、レースをリードしていたにもかかわらず最後の2つのコーナーで勝利を逃してしまったことは本当に残念です。不運にもバッテリーがオーバーヒートしてしまったので、サムに簡単に抜かれてしまいました。サムには、本当におめでとうと言いたいです。この勢いを維持して2週間後の東京に臨みます。」

ジャガーTCSレーシングドライバー、ニック・キャンディ(#37)のコメント:

「FP1、FP2、そして今日のクオリファイセッションの1本目までは本当に速いマシンでした。今週末は自分のマシンが最速の1台だったと今でも信じています。しかし、レースは私が望んでいた通りにはいきませんでした。フロントウイングを数回接触してひどいダメージを受けていました。4戦連続の表彰台を逃してしまいましたが、ドライバーズ・ランキングではまだ首位に立っているので、東京に向けて頑張りたいと思います。」

次は2024年3月30日に開催されるABB FIAフォーミュラE世界選手権シーズン10第5戦、日本初開催となる東京E-Prixに挑みます。



JAGUAR



RACING

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2024 年 3 月 16 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00-18:00、土日祝日を除く)

エディターズ・ノート

ジャガーTCS レーシングについて

JAGUAR は 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。

2023 年 ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権では、ジャガーTCS レーシングはフォーミュラ E でチーム最大のポイント獲得となる 292 ポイントを獲得し、準優勝に輝きました。

ミッチ・エバンスは、2023 年のドライバーズ・ランキングで、フォーミュラ E における自己最多となる 197 ポイントを獲得して、ランキング 3 位でシーズンを締めくくりました。2024 年も、チームのために引き続きレースに参戦します。ニック・キャシディは、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権の 2024 年シーズンからチームのドライバー・ラインアップに加わりました。

2023 年シーズンでは、すべてのチームが世界初のネットゼロレースカーである Gen3 カーでレースを行いました。ジャガーTCS レーシングは、2024 年も「Jaguar I-TYPE 6」でレースに参戦します。

フォーミュラ E は、電動レースカーのコンセプトだけでなく、開催地の選択においてモータースポーツの世界でユニークなシリーズとなっています。2024 年のチャンピオンシップは、メキシコシティ、ディルイーヤ、モナコを含む世界の主要都市の中心部にある既存のサーキットや仮設のストリートサーキットで開催され、東京や上海などの新たな会場も追加されます。シーズン最終戦の週末は、ロンドンでダブルヘッダーのレースが開催されます。

フォーミュラ E の公式マニファクチャラー・チームとして、ジャガーTCS レーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。JAGUAR は、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるウィリアムズ・アドバンスド・エンジニアリングを通じてエンヴィジョン・レーシングに「Gen3」のパワートレインを供給しています。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバー(JLR)のフルバッテリー電気自動車(BEV)のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。



JAGUAR



RACING

フォーミュラ E 世界選手権への参戦は引き続き、JLR のグローバル戦略「REIMAGINE」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラ E 世界選手権を通して、JAGUAR はハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げる JAGUAR にとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ (Race to Road)、そして市販車からレースへ (Road to Race) と相互に役立てることができます。それこそが JAGUAR が情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

ジャガー-TCS レーシングは、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットカーボンレースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。詳細については、<https://media.jaguarracing.com/>をご覧ください。

Tata Consultancy Services (TCS)について

TCS は、55 年以上にわたって数多くの世界最大規模のビジネスをデジタルに変革してきた、IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションを提供する企業です。JLR の長年にわたる戦略的テクニカルパートナーである TCS は、新しいテクノロジーを活用して、レースチームの電動化を促進し、レースで勝利して、より持続可能な未来を構築する活動をサポートしています。TCS はより良い未来の構築に取り組み、サーキットで得たノウハウを活用して、モビリティ・エコシステムを変革しています。タタ・グループの一員である TCS は、世界中に 60 万 8,000 人を超えるコンサルタントを擁しています。

